

3 学年 前期 学習内容と評価規準

前期の学習内容と学校が評価をするにあたっての規準の例です。

※すべてこのように評価しているわけではありませんが、これを規準にあゆみを作成しております。

【知・技】…知識及び技能の評価

【思・判・表】…思考力、判断力、表現力等の評価

【態】…主体的に学習に取り組む態度の評価

教科	単元名・教材名	評価規準
国語	春風をたどって ※よく聞いてじこしょうかい ※どきん ※わたしのさいこうの一日 ※図書館たんていだん ※国語辞典を使おう ※漢字の広場① ※春のくらし	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 【思・判・表】登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 【態】進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
	もっと知りたい、友だちのこと 【コラム】きちんとつたえるために ※漢字の音と訓 ※漢字の広場②	【知・技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 【思・判・表】目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。 【態】粘り強く話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって話したり、質問したりしようとしている。
	文様 こまを楽しむ 【じょうほう】全体と中心	【知・技】段落の役割について理解している。全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【思・判・表】段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 【態】進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って説明する文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。
	気持ちをこめて、「来てください」 ※漢字の広場③	【知・技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 【思・判・表】間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。 【態】粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって行事を案内する手紙を書こうとしている。
	まいごのかぎ ※俳句を楽しもう ※こそあど言葉を使いこなそう	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 【思・判・表】登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 【態】登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。
	【じょうほう】引用するとき	【知・技】引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。 【思・判・表】自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 【態】積極的に引用のしかたや出典の示し方を理解し使い、学習課題に沿って本などから調べたことを引用して文章を書こうとしている。
	仕事のくふう、見つけたよ 【コラム】符号など ※夏のくらし	【知・技】改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。段落の役割について理解している。 【思・判・表】相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 【態】進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。
	本で知ったことをクイズにしよう 鳥になったきょうりゅうの話 ※わたしと小鳥とすずと夕日がせなかをおしてくる	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 【態】進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようとしている。
書写	こんな係がクラスにはしい 3時間(話・聞③) ※ポスターを読もう ※書くことを考えるときは	【知・技】考えとそれを支える理由や事例について理解している。 【思・判・表】目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりしている。目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 【態】進んで互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習の見通しをもってグループで話し合い、考えを整理してまとめようとしている。
	書写のやくそく 毛筆のひみつ 用具のじゅんぴ 書く時のしせい えんぴつとくらくらべよう ほ先の向きとじくのかたむき 点画のしゅるい 「横画」「縦画」「おれ」 小筆で書いてみよう 書写を広げたい①② 力の入れ方 「左はらい」「右はらい」	毛筆の特徴や、毛筆を使用した学習の意義を理解している。 毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を正しくしている。 筆の持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を理解している。 筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解している。 点画の種類を理解している。 毛筆を使用して、横画、縦画、折れ、左払い、右払いの書き方への理解を深めて書いている。 小筆の使い方を理解して、正しい持ち方で書こうとしている。

教科	単元名・教材名	評価規準
社会	「もっと知りたい みんなのまち」 1. 私たちのまちはどんなまち 2. まちから市へ広げよう	【知・技】市の様子について調べたことを、白地図にまとめている。また、地図から市全体の土地利用の特色を読み取っている。 【思・判・表】市の様子について話し合い、場所によって違いがあることを表現している。 【態】市の様子についてまとめるとともに、これまでの学び方を振り返ることができる。
	「はたらく人とわたしたちの暮らし」 1. 店ではたらく人とわたしたちの暮らし	【知・技】事前に決めた視点ごとに売り場の様子を観察して、必要な情報を集めている。店には、販売の他にさまざまな仕事で働く人がいることを理解している。店は商品の仕入れを通じて、国内外の他地域と関わっていることを理解している。市の観光の仕事には、他地域や外国とのつながり、働く人の工夫や努力があることを理解している。調べたことをノートにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 【思・判・表】客の願いと店の工夫を関連付けて表現している。ホテルの仕事と地域の人々の暮らしとの関わりについて考えたる、工場の仕事と地域の人々の暮らしとの関わりについて考え、ノートに表現している。 【態】学習問題にもとづいて販売の仕事をもとめるとともに、これまでの学び方を振り返っている。地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

算 数	九九の表とかけ算	【知・技】10のかけ算、0のかけ算の意味を理解し、その計算ができる。 【思・判・表】かけ算のきまりを用いて、かけ算の仕組みや10や0のかけ算の仕方を考えている。 【態】かけ算のきまりを見つめたり計算にいかしたりすることに進んで関わり、ふり返りを通してかけ算のきまりのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	わり算 ※見方・考え方を深めよう	【知・技】等分除や包含除の意味を理解し、除法の適用場面を式に表して、九九を用いて答えを求めることができる。答えが九九にないわり算の答えを求めることができる。 【思・判・表】わり算の場面を既習のかけ算と関連づけて、わり算の計算の仕方を考えたり、説明したりしている。 【態】学習に進んで関わり、ふり返りを通してわり算の式にかくことやその計算の仕方のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	たし算とひき算の筆算 ※ふく習	【知・技】繰り上がりや繰り下りの処理を通して、十進位取り記数法の理解を深め、(3位数)±(3位数)や簡単な(4位数)±(4位数)の筆算を、繰り上がりや繰り下りに気をつけて正しく筆算で計算することができる。 【思・判・表】既習の2位数の計算の仕方をもとに、(3, 4位数)±(3, 4位数)の筆算の仕方を考えている。 【態】(3, 4位数)±(3, 4位数)の筆算に進んで関わり、ふり返りを通して筆算の仕方のよさ、答えの見当づけや確かめの意義に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	時こくと時間	【知・技】時刻や時間の求め方や秒について理解し、必要な時刻や時間を計算によって求めたり、秒の単位を用いて測定したりすることができる。 【思・判・表】ちょうど何時かの時刻の区切りに着目し、時刻や時間の求め方を考えている。 【態】身のまわりの時刻や時間に進んで関わり、ふり返りを通して時刻や時間の求め方のよさや秒という単位の必要性に気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	一万をこえる数	【知・技】一億までの数の表し方や仕組みを理解し、一億までの数を表したりよんだりすることができる。 【思・判・表】位の仕組みや数の相対的な大きさに着目し、加減計算の仕方や10倍、100倍、1000倍した数や10でわった数の求め方を考えている。 【態】一億までの数とその仕組みに進んで関わり、ふり返りを通して十進位取り記数法や数の相対的な見方のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	表とグラフ	【知・技】身のまわりの事象について、表やグラフを用いて分類・整理する仕方を理解し、表やグラフをよんだりつくったりすることができる。 【思・判・表】目的に応じて、表の項目や棒グラフの目盛りのつけ方を適切に判断したり、表や棒グラフから事象の特徴をよみとったりしている。 【態】身のまわりの事象を分類・整理することに進んで関わり、ふり返りを通して表や棒グラフを目的にあわせて工夫することの必要性やそのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	たし算とひき算 ※どんな計算になるのかな ※算数の自由研究 ※ふく習	【知・技】(2位数)±(2位数)や100-(2位数)の暗算の仕方を理解し、その計算の答えを暗算で求めることができる。 【思・判・表】暗算の仕方を考えたり、説明したりしている。 【態】たし算とひき算の暗算に進んで関わり、ふり返りを通して暗算処理のよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	長さ	【知・技】巻尺の使い方や、長さの単位「km」について理解している。 【思・判・表】長さの単位に着目して長さの計算の仕方を考えたり、長さの量感をもとに適切な単位を判断したりしている。 【態】長さの測定や表し方の学習に進んで関わり、ふり返りを通して長さにあわせて適切な計器や普遍単位を使うことや、長さの量感を身につけておくことのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。
	あまりのあるわり算	【知・技】余りの意味やあまりのあるわり算の仕方を理解し、余りのあるわり算の答えを求めたり、確かめたりすることができる。 【思・判・表】わり算の意味にもとづいて余りの大きさを判断したり、目的にあわせて余りの処理の仕方を考えたりしている。 【態】余りのあるわり算に進んで関わり、ふり返りを通して余りのあるわり算の答えの求め方や目的にあわせて余りを処理することのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。

教科	単元名・教材名	評価規準
理 科	春の生き物	【知・技】生き物は、色、形、大きさなど、すがたに違いがあることを理解している。 【思・判・表】身の回りの生き物のすがたについて、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】身の回りの生き物のすがたについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	たねまき ※どれくらい育ったかな	【知・技】植物の育ち方には一定の順序があること、また、その体は根、茎及び葉からできていることを理解している。 【思・判・表】植物の成長のきまりや体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 【態】植物の成長のきまりや体のつくりについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	チョウのかんさつ	【知・技】昆虫の育ち方には一定の順序があること、また、成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。 【思・判・表】昆虫の成長のきまりや体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 【態】昆虫の成長のきまりや体のつくりについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	風やゴムのはたらき	【知・技】風の力は、物を動かすことができること、また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。 ②ゴムの力は、物を動かすことができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。 【思・判・表】風とゴムの力の働きについて、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【態】風とゴムの力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。
	こん虫のかんさつ	【知・技】生物は、周辺の環境と関わって生きていること、昆虫の育ち方には一定の順序があること、昆虫の成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。 【思・判・表】生物と環境との関わりや昆虫の成長、体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 【態】生物と環境との関わりや昆虫の成長、体のつくりについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。
	※花がさいたよ実ができた	【知・技】植物の育ち方には一定の順序があること、また、その体は根、茎及び葉からできていることを理解している。 【思・判・表】植物の成長のきまりや体のつくりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 【態】植物の成長のきまりや体のつくりについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。

音 楽	楽ふとドレミ	【知・技】思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。 【思・判・表】音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【態】ハ長調の音階で表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	こんにちはリコーダー	【知・技】リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 【思・判・表】音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、リコーダーの演奏のよさを見だして聴いたりしている。 【態】リコーダーで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	ひびきのある歌声 ※につぼんのうた みんなのうた ※いろいろな声で表現しよう	【知・技】曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【思・判・表】旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【態】旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
	せんりつと音色	【知・技】曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思・判・表】音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【態】旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科	単元名・教材名	評価規準
図 工	単元全体を通して	【態】つくりだす喜びを味わい進んで創作活動から思い付いたものを表したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
	絵の具＋水＋ふで＝いい	【知・技】水彩絵の具を適切に扱うとともに、共用の絵の具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、色づくりや表し方を試して感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	うごいて楽しいわりピンワ	【知・技】割りピンや色画用紙などを適切に扱うとともに、前学年まではさみ、カッターナイフ、接着剤、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、割りピンを使って形を動かしながら感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	ここがすみか	【知・技】自然材を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。 【思・判・表】形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、学校にあるすみや自然材の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。
	ことばから思いうかべて	【知・技】詩や物語から想像を広げて絵に表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。 【思・判・表】形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、詩や物語を読んだことで感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	ねん土マイタウン	【知・技】油粘土を適切に扱うとともに、前学年までの粘土べらなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。
	立ちあがった絵のせかい	【知・技】水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までのクレヨン・パス、はさみなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。 【思・判・表】形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、立たせた紙や、表と裏の関係から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。
	土をかんじて (鑑賞)	【知・技】土を見たり土に触れたりして造形的なよさや面白さを感じ取るときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 【思・判・表】いろいろな土の造形的なよさや面白さについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
	お気に入りの葉	【知・技】葉を集めて、その形や色を見るときに感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 【思・判・表】いろいろな葉の造形的なよさや面白さについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。
	ひもでつないで	【知・技】ひもを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。 【思・判・表】形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、ひもや活動する場所などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。

体 育 ・ 保 健	マット運動	【知・技】マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。自分の力に合った回転系(前転など)や巧技系(壁倒立など)の基本的な技ができる。○前転○後転○開脚後転○補助倒立ブリッジ○側方倒立回転○壁倒立○壁登り倒立○頭倒立 【思・判・表】自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいく。 【態】器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	かけっこ・リレー	【知・技】スタート姿勢から素早く走り出すことができる。真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 【思・判・表】かけっこやリレーのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く走るための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいく。 【態】きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。
	表現・リズムダンス	【知・技】題材ならではのふさわしい動きで特徴を捉えたりすることができる。リズムダンスの行い方がわかる。 【思・判・表】表現におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 【態】リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。
	水泳	【知・技】もぐる・浮く・浮いて進む運動の行い方がわかる。 【思・判・表】自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見付けている。補助具を活用したり友達に補助してもらったりするなど、自分の力に合った練習の仕方を選んでいく。 【態】使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めている。
	高跳び	【知・技】走り高跳びの行い方がわかる。3～5歩程度のリズムカルな短い助走から踏切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶことができる。 【思・判・表】走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。走り高跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、高く跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいく。 【態】きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。
	体つくりの運動 ※すもう学習	【知・技】人や物を押す、引く、運ぶ、支える、ぶら下がるなどの動きや、力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り、力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。 【思・判・表】基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。 【態】友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。